



「平成 28 年度 新任保育士・職員研修会」報告書

【期 日】平成 28 年 5 月 25 日(水)

【会 場】マリトピア

【主 催】佐賀県保育会

【参加者数】111 名



【内 容】

研修 1 10:00~10:20

「基調報告」：指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

研修 2 10:30~12:00

「いきいきと仕事をする保育士になるためのヒント」

講師：桑田 道子 氏（女性ライフサイクル研究所 Felien【フェリアン】講師）

研修 3 13:00~16:00

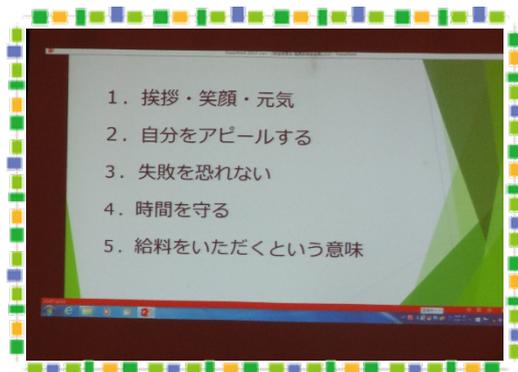
「子どもの育ちを支える保育士の役割」

講師：林 寛 氏（佐世保市立港小学校 校長）

研修 1 「基調報告」

講師：指山 健次郎 氏(佐賀県保育会会長)

- 1.佐賀県保育会とは
- 2.国の動向
- 3.新任保育士の方々へ
- 4.保育所は命を育み、学ぶ意欲を育てます。



研修2 「いきいきと仕事をする保育士になるためのヒント」

講師：桑田 道子 氏（女性ライフサイクル研究所 Felien【フェリアン】講師）



- ・いきいきと仕事をする保育士になるためのヒント
～人間関係力、コミュニケーション力アップ～

【1】 良い仕事をするためには

相手とのコミュニケーションが大切

コミュニケーションとは？

意思、感情、情報を伝え合う、受け取りあうこと、双方向のやりとり



・他人とわかちあうこと、生きる力を学ぶ

コミュニケーションにトレーニングが必要な時代⇒人間関係力のアップを心がける

・ちいさな体験の積み重ねトライ&エラーの繰り返しで育まれていく

・心が折れない、しなやかな人間関係構築力を

他人とかかわらずに育った・・・コミュニケーションが苦手

試す→失敗する→コミュニケーションが育まれていく

自分が試してもいないのに、しなやかな人間関係は出来ない

【2】 目指そう、人間関係力、コミュニケーション力アップ！

先輩に聞いた気になる新人の言動

- 1、 メモをとらずに同じことを何度も聞く
- 2、 挨拶がきちんとできない
- 3、 指示待ちで言われたことしかやらない
- 4、 雑用を率先してやろうとしない
- 5、 同じミスを何度も繰り返す
- 6、 注意するとふてくされた態度をとる
- 7、 ホウレンソウ（報告、連絡、相談）ができない
- 8、 敬語がうまく使えない
- 9、 感情表現に乏しい
- 10、 注意をしてもどこかひとごとでいる NIKKEI プラス 1



コミュニケーション力を身につけるとは？

器用にやり抜くことではなく、誠実にやろうとすることと、相手を大切に思う気持ちと、失敗しても仕切り直す姿勢を持つことが重要

【3】 いきいきと良い仕事をするために

- ・保育はチームワークが大切
- ・「助けがいのある人になる」→相談にのってもらい→お礼を言う、アドバイスを
実行してみる、→相手に報告して、改めて感謝を伝える

心身ともにしなやかに、良い仕事をする保育士に！！

研修3 「子どもの育ちを支える保育士の役割」

講師：林 寛 氏（佐世保市立港小学校 校長）



自立支援施設入所児童から学んだこと

- ・劣悪な家庭環境、・愛着障害（保護者との愛情が結べない）、・発達障害
非行を行う原因・・・4つのゼロ

居場所がない、自己肯定感がない、将来の展望がない、自分を気にかけてくれる人がだれもいない

子どもから、信頼される大人になるためには

- ・愛情をもって接してほしい
- ・相手が子どもだからといって嘘やごまかしはだめ
- ・子ども一人一人を人格者として認める



◎効果及び評価

・いきいきと仕事をする保育士になるためには、人間関係力、コミュニケーション力がいかに必要かが再確認できた研修だった。保育は、チームワークが大切であり、そのためには、ひとりひとりの意欲が重要であること、大丈夫ではないのに、大丈夫だと言っていないか？助ける力をもつためには助けてもらう力をもつ・・・これからも、えがおを忘れず、保護者から「先生のえがおで癒される」と言われる保育士でありたいと思う。

（文責：双葉保育園 佐伯みどり）